

山形県環境教育等行動計画（仮称）策定に係る地域意見交換会について

- 開催日時：平成25年 1月15日（火）午後 1時30分～ 3時 県庁701会議室
- 出席者：市町村の環境教育担当部署、山形県環境学習支援団体
- 第2回の協議会資料について意見交換、情報提供いただいた。

《山形県環境学習支援団体》

	意見、情報提供内容	計画での対応状況
1	NPOなどが学校の環境学習を支援する際、自己負担が大きいので、バックアップしてほしい。	第3章1（1）「学校における環境教育」、（4）「人材の育成・活用」ほかでマッチング、コーディネートの中で検討
2	個人的にPTAの役員もしているが、福祉や情報教育など子どもに身につけさせたいことが学校に集中しており、その中から一つ選んで取り組むのが精一杯。日常の中で気軽に取り組めるような仕掛けが必要ではないか。	第3章1（1）「学校における環境教育」学習プログラム例の作成の中で取り組む
3	グリーン購入の取組みは、職場が中心となっているが、もっと早期に子どもの頃から学習した方がよい。	第3章1（3）地球温暖化防止県民運動の中で普及啓発に取り組む
4	国の人材認定事業の登録を受けている民間団体の認定を受けた人材も活用してほしい。（□人材の育成、人材認定事業及び教材開発・提供事業の登録及び情報提供）	第3章1（4）「人材の育成・活用」に追加
5	国の環境カウンセラー制度については、情報の活用だけではなく、県内で認定されている人材を活用すべき。（□人材の育成、人材認定事業及び教材開発・提供事業の登録及び情報提供）	第3章1（4）「人材の育成・活用」に追加
6	事業所などへの県環境アドバイザーの無料派遣などの情報提供をもっとすべき。	第3章2「職場における環境保全活動等」に追加
7	地球温暖化防止活動に係る拠点として県が指定している県地球温暖化防止活動推進センターについても記載すべき。	第3章3「拠点機能整備」に追加
8	やまがた緑環境税を活用した事業で講師としての活動の機会が増えている。活躍の場のコーディネートをもっとすべき。	第3章1（1）「学校における環境教育」、（4）「人材の育成・活用」ほかでマッチング、コーディネートに取り組む
9	教育委員会で、市内の各学校の担当者が集まって環境教育を推進する研修会を年2回開催している。学校との連携ではやはり情報交換が必要だと思う。	第3章1（1）「学校における環境教育」、（2）「学校の教職員の資質の向上」で取り組む
10	市環境課で毎年年1回、シャープや鶴岡高専で実施している環境講座、また、庄内地域地球温暖化防止活動推進協議会、環境つるおか推進協議会の出前講座などの活用できるメニュー作成し、学校に提供している。毎年50件くらいは学校から依頼がある。	—

《市町村》

	意見、情報提供内容	計画での対応状況
11	町のアドバイザーを16名認定している。年2回の校長会で周知するほか、学校に出向いて担当の先生にも伝える。申込みやすい書類は省略。理解が進むように複数回に渡ったメニューも提供するようにしている。	—
12	ISO取得事業所の研修を支援している。また、業界団体や組合にも協力を呼びかけるとよいのではないか。	第3章2「職場における環境保全活動等」に追加
13	環境学習の副読本を作成したことから、教育委員会との連携が進んだ。各地域に合わせたプログラムが必要。地域と学校の連携については、「学校地域本部事業」を活用すべき。	第3章1(1)「学校における環境教育」で記載済み
14	公民館での生涯教育も重要	第3章1(3)「社会等幅広い場における環境教育の推進」で記載済み
15	省エネ活動はどこの学校も取り組んでいるのでそこにプラスαする環境教育が必要。	第3章1(1)「学校における環境教育」学習プログラム例の作成、第3章1(3)地球温暖化防止県民運動の中で取り組む
16	町で認定しているアドバイザーを対象にスキルアップ講座を実施。教育委員会の指導主事から年齢別子どもへの話し方などを教えてもらった。	—
17	学校で「弁当の日」という事業を実施、好評を得ている。	—